

国語科 《第3学年》年間指導計画

国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

国語科 第3学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、態は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	1 深まる学びへ <13時間>	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。 話の内容を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界はうつくしいと 握手 	<p>知 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やしている。</p> <p>思 文章の内容に沿って、登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。</p> <p>態 進んで語感を磨き、友達の考えやこれまでの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。</p>	読むこと 構造の内容と把握 (5~6年)
		<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価しながら聞く 学びて時に之を習ふ 	<p>知 立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理し、根拠の適切さや取り入れたい表現などを伝えあっている。</p> <p>思 孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。</p> <p>知 具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めている。</p>	聞くこと 表現 (3~4年)
5	2 視野を広げて <10時間>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開を考え話の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作られた「物語」を超えて 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 	<p>思 論説の特性を踏まえ、論理の展開を図式化するなどして捉えている。</p> <p>態 相手を説得できるように、論理の展開などを考えて構成を工夫し、これまでの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国文字マップ 文字の使い分け 	<p>知 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。</p> <p>態 積極的に書き文字の特徴と効果を理解しようとしている。</p>	硬筆による書写 (3~6年)
6	書写<4時間> 文字を使い分ける				
7	情報社会を生きる <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう 	<p>思 観点ごとに情報を整理し、情報の客観性や信頼性を確認しながらまとめている。</p>	情報の整理 (3~4年)
		<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の可能性 俳句を味わう もっと伝わる表現を目指して 	<p>知 俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。</p> <p>思 伝えたいことが効果的に伝わる語順を考えて俳句を創作している。</p>	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
9	読書生活を豊かに <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「私の一冊」を探しにいこう 	<p>知 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>態 今までの学習を生かして本を選び、読んだことを書評にまとめたりしようとしている。</p>	読書 (5~6年)
		<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 故郷 論理の展開を整える 	<p>知 作品を通して自分の人生や生きている社会について深く考えるきっかけとしている。</p> <p>思 自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値について考えている。</p> <p>態 目的や意図に応じた表現化を確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。</p>	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
10	熟語の読み方	<ul style="list-style-type: none"> 熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを理解し、活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の読み方 	<p>知 漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 文章の種類を選択し、読み手を説得できるように論理の展開を考えて文 	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能と未来 多角的に分析して書こう 課題解決のために 	<p>知 自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。</p> <p>思 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなど</p>	書くこと 構成の検討 話すこと 話し合いの進め方の検討

11		<ul style="list-style-type: none"> 章の構成を工夫することができる。 進行の仕方を工夫し、互いの発言を生かして考えを広げたり、深めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議を開く 初恋 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情 態 	<ul style="list-style-type: none"> して、自分の意見を書いている。 観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。 積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。 	(5~6年)
	書写<6時間>	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三年間のまとめ 私の好きな言葉 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情 態 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 好きな言葉を書く活動を通して、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。 積極的に3年間で習得した知識・技能を使い、自分の好きな言葉を書いている。 	毛筆による書写(3~6年)
12	6 いにしへの心を受け継ぐ<9時間>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 和歌の表現のしかたについて評価することができる。 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 古今和歌集 仮名序 君待つと 夏草 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情 態 	<ul style="list-style-type: none"> 三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。 芭蕉の「旅」についての考えと現代の「旅」がもつ意味を比較し、芭蕉が見たものや感じたことを想像している。 進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。 	伝統的な言語文化(5~6年)
	7 価値を見出す<7時間>	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見出すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情 態 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。 資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。 粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。 	読むこと 精査・解釈(5~6年)
1 2 3	読書に親しむ<2時間>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情 態 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 今までの学習を生かして本を選び、読んだことを書評にまとめたりしようとしている。 	読書(5~6年)
	8 未来へ向かって<16時間>	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 場の状況に応じて言葉を選んだり、情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理することができる。 三年間の学習を振り返り、「今まで」と「これから」の学びについて考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 温かいスープ わたしを束ねないで 三年間の歩みを振り返ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情 態 	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 自分の考えがわかりやすく伝わるように、聞き手の反応を確かめながら問いかけたり、分かりやすく言い換えたりしている。 表現のしかたを考えたり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 三年間の学習を振り返り、学んだ知識や技能を生かして学習課題に取り組みようとしている。 	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有(5~6年)
	慣用句・ことわざ・故事成語(10分×5)	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句などについて理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句・ことわざ・故事成語 	<ul style="list-style-type: none"> 知 	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句やことわざ、故事成語の意味を理解し、使うことができる。 	

社会科公民分野 経済 《第3学年》年間指導計画（30時間分）

社会科 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 歴史分野の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を、広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、主は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	学習内容	評価規準	小学校との関連
10	私たちの生活と経済	身近な消費活動を中心に、経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。	1. 経済活動とお金の役割 2. お金の使い方と経済の考え方 3. 価格の働きと経済	知 市場経済における価格には、人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身に付けている。 思 経済活動や市場経済の意義について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 主 経済活動や市場経済の意義について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習課題を解決しようとしている。	・わたしたちの生活と工業生産
11	消費者と経済	経済活動を活発にしていくための消費者の役割と責任を理解させるとともに、消費者の保護など消費者をめぐる	1. 家計の収入と支出 2. 消費生活と流通の関わり 3. 消費者問題と政府の取り組み	知 国や地方公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために、消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身に付けている。 思 経済活動を活発にするための消費者の役割や責任について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 主 個人の消費生活に関する諸問題に着目し、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを自らの消費生活に生かそうとしている。	・安全な暮らし ・住みよいくらし ・わたしたちの生活と環境

11 12	企業 と 経 済	現代の生産や金融のしくみや働きを理解させるとともに、経済を活発にしていくなための企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義および労働基準法の精神と関連づけて考えさせる。	1. 私たちの生活と企業	知	企業の生産活動や金融に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	・わたしたちの生活と環境
			2. 企業活動のしくみ		思	
			3. 金融のしくみと働き	主	企業の生産活動や金融に関する諸問題について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	
4. 企業競争の役割						
			5. 働くことの意義と労働者の権利			
			6. 労働環境の変化と私たち			
			7. 企業の社会的責任			
1	これからの日本経済	グローバル化の進行により、日本経済が世界経済の影響を強く受けていることを理解させるとともに、これからの日本経済の発展のために必要なことを多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 景気の変動とその影響	知	日本経済における世界経済の影響に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・わたしたちの生活と環境
			2. 日本銀行と金融政策		思	
			3. グローバル化と日本経済	主	グローバル化が進行する中、日本経済の発展について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	
4. これからの日本の経済と私たち						
1 2 3	財政	社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。また財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	1. 私たちの生活と財政	知	社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	・わたしたちの生活と環境
			2. 国の支出と収入		思	
			3. 社会資本の役割と環境への取り組み	主	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	
4. 社会保障と私たちの生活						
			5. これからの日本の財政			

社会科公民分野政治・国際社会 《第3学年》年間指導計画（70時間分）

社会科 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 歴史分野の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を、広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、主は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	学習内容	評価規準	小学校との関連	
4	現代社会の特色	情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、①や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 情報化が進む現代 2. グローバル化が進む現代 3. 少子高齢化が進む現代	知	現代日本の社会では情報化、グローバル化、少子高齢化など変化がみられることを理解し、その知識を身に付けている。	・わたしたちのまちのようす ・情報化した社会とわたしたち ・世界中の日本
				思	情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	情報化、グローバル化、少子高齢化に関する事象を身近なところから見つけ、主体的に問題解決しようとして、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	
5	私たちの生活と文化	現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 生活に息づく文化 2. 日本の伝統と文化	知	我が国の伝統や文化に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ることを通して、その意義や影響を理解し、その知識を身に付けている。	・わたしたちのまちのようす ・情報化した社会とわたしたち ・世界中の日本
				思	現代社会における文化の意義や影響、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	わが国の伝統や文化について、自分の体験や身近な事例と結びつけて生活とのかかわりを考え、文化の継承と創造に積極的にかかわろうとしている。	

5	現代社会をとらえる枠組み	対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。②社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	1. 社会的存在として生きる私たち 2. 効率と公正 3. 私たちときまり	知	現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。	・かわってきた人々のくらし ・郷土の発展につくす ・わたしたちの東京都 ・わたしたちの生活と食料生産
				思	社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる	
6	民主主義と日本国憲法	法に基づく政治の大切さについて、対立と合意、効率と公正、個人の尊厳と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 民主主義と立憲主義 2. 人権保障と法の支配 3. 日本国憲法の成立 4. 国民主権 5. 日本の平和主義	知	法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法の原則、天皇の地位と国事行為について理解し、その知識を身に付けている。	・住みよいくらし ・私たちの生活と政治
				思	民主的な社会生活にかかわる様々な事象から学習課題を見出し、対立と合意、効率と公正、個人の尊厳と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	民主的な社会生活にかかわる様々な事象をもとに、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	
6 7 8	基本的人権の尊重	基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解させるとともに、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 個人の尊重と憲法上の権利 2. 自由権 3. 平等権と差別されない権利 4. 日本社会の差別の現実 5. 社会権 6. 政治に惨禍する権利と人権を守るための権利 7. これからの人権を考える	知	基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解し、その知識を身に付けている。	・住みよいくらし ・私たちの生活と政治
思				基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と法との関連について、個人の尊重の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
主				人間の尊重についての考え方を踏まえて、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。		

8 9	法の支配を支えるしくみ	最高法規である日本国憲法に基づいた政治によって国民の自由と権利が守られていることを理解させる。	1. 権力の分立 2. 憲法の保障・改正と私たち	知	収集した資料の中から、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・住みよ い暮らし ・私 たちの 生活 と 政治
				思	我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	日本国憲法が国の統治について規定していることについて、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	
9	民主政治と私たち	個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するためには、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解させる。	1. 国民の願いを実現するために 2. 世論とマスメディア 3. 政党の役割 4. 選挙制度とその課題	知	国民の政治参加や国民の意思を政治に十分に反映させるしくみについての資料を適切に調べまとめている。	・住みよ い暮らし ・私 たちの 生活 と 政治
				思	議会制民主主義を守り、発展させるための関わり方を選択・判断して、適切に表現している。	
				主	議会制民主主義が我が国の政治の原則であることに着目して、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	
10 11 12	国の政治のしくみ	国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらしや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障について理解させる。	1. 国会の役割としくみ 2. 国会の現状と課題 3. 内閣の役割としくみ 4. 行政の役割と課題 5. 私たちの生活と裁判 6. 人権を守る裁判とその課題	知	国の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・住みよ い暮らし ・私 たちの 生活 と 政治
				思	国会、内閣、裁判所の国民権を守るための役割と課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
				主	国の政治のしくみについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	

11 12	地方自治 と私たち	地方自治の基本的な考え方について理解し、地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方自治体の政治に参加すべきかについて、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方自治と地方公共団体 2. 地方公共団体のしくみと政治参加 3. 地方財政の現状と課題 4. 私たちと政治参加 5. 政治分野振り返り 	<p>知</p> <p>地方公共団体の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>思</p> <p>地方自治体の政治と政治参加に関する課題を見出し、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>主</p> <p>身近な事例から地方自治体の政治に関する関心を高め、民主政治の基本的な考え方とそれに基づく地方公共団体の政治のしくみについて、意欲的に追究している。</p>	<p>・住みよ い暮らし ・私 たちの生活と 政治</p>
12 1 2 3	国際社会	対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、課題を追究したり、解決したりする活動を通して、①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から現代社会の諸課題の解決のために経済的・技術的な協力が大切であることを理解させる。②日本国憲法の平和主義を基に我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。③世界平和と人類の福祉増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国家と国際社会 2. 領土をめぐる取り組み 3. 国際連合の働きとしくみ 4. 国際社会における日本の役割 5. 貧困問題と環境保全 6. 現代における紛争 7. 兵器の脅威と軍縮への努力 8. グローバル化が進む国際社会 9. 持続可能な社会を目指して 	<p>知</p> <p>世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から現代社会の諸課題の解決のために経済的・技術的な協力が大切であることを理解している。</p> <p>思</p> <p>日本国憲法の平和主義を基に我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>主</p> <p>世界平和と人類の福祉増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>・わた し た ち の 国 土 ・世 界 中 の 日 本</p>

社会科 歴史分野《第3学年》年間指導計画（40時間分）

社会科 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 歴史分野の目標

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、主は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	学習内容	評価規準	小学校との 関連	
4 5	第一次世界大戦と民族独立の動き	①ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気付かせるとともに、日本の参戦、ロシア革命なども取り上げて、世界の動きと日本の関連をふまえて、大戦がその後の国際情勢および日本に大きな影響を及ぼしたことに気付かせる。 ②国際連盟の成立、中国や朝鮮、インドにおける民族運動の高まり、軍縮条約の締結を取り上げ、日本がどのように対応したかを理解させる。	1. 第一次世界大戦の始まりと総力戦 2. 第一次世界大戦の拡大と日本 3. 第一次世界大戦後の欧米諸国 4. アジアの民族自決と国際協調	知	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きをもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	世界に歩み出した日本
				思	世界の動きと日本の関係に着目して、第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	第一次世界大戦前後の国際情勢について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
5	高まるデモクラシーの意識	①国民の政治的自覚が高まり、本格的な政党内閣による政党政治が展開したことなどに気付かせる。 ②大都市の発達や都市に住む人々の生活様式や意識の変化などを取り上げ、文化の大衆化が進んだことを理解させる。	1. 大正～昭和を眺めてみよう 2. 護憲運動と政党内閣の成立 3. 社会運動の高まりと普通選挙	知	国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	世界に歩み出した日本
思	世界の動きと我が国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本社会の変化や影響を考察するなど事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。					

			<p>の実現</p> <p>4. 近代都市に現れた大衆文化</p>	主	<p>第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
6	戦争に向かう世論	<p>①世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化、日本における経済の混乱と社会不安の広がりを取り上げ、政党政治が行き詰まりをみせ、軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと、国際連盟を脱退した日本がドイツと組んでアメリカやイギリスと対立を深めたこと、中国との戦争が長期化した経緯を理解させる。</p>	<p>1. 世界恐慌と行き詰まる日本</p> <p>2. 欧米諸国が選択した道</p> <p>3. 強まる軍部と衰える政党</p> <p>4. 日中戦争と総力戦に向かう国民生活</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦がはじまるまでの日本の政治・外交の動きなどをとくに、軍部の対等から戦争までの経過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>長く続いた戦争と人々の暮らし</p>
6	第二次世界大戦の惨禍	<p>①日本がドイツ、イタリアと三国同盟を結び、アメリカ、イギリス、ソビエト連邦などと対戦になったこと、日本が多くの国に対して多大な損害を与えたこと、日本の国民自身も大きな戦禍を受けたことなどから、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付かせる。</p> <p>②戦時体制下で国民の生活がどう変わったかについて、身近な地域の事例を取り上げ、平和な生活を築くことの大切さに気付かせる。</p>	<p>1. 第二次世界大戦への道</p> <p>2. 太平洋戦争と植民地支配の変化</p> <p>3. 戦局の悪化と戦時下の暮らし</p> <p>4. ポツダム宣言と日本の敗戦</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをとくに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>第二次世界大戦と人類への惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>長く続いた戦争と人々の暮らし</p>
7	敗戦から立ち直る日本	<p>①戦後の混乱のなかで、国民の貧しさからの解放の願いや平和と民主主義への期待などを背景に、大きな改革が次々に進められ、国民が苦難をのりこえて新しい日本の建設に努力し、現代の日本の骨組みが形成されたことに気付かせる。</p> <p>②日本国憲法の基本的原則からその歴史的意義を読み取らせる。</p> <p>③戦後の混乱や生活のようす、国民の</p>	<p>1. 敗戦からの出発</p> <p>2. 新時代に求められた憲法</p> <p>3. 冷たい戦争とその影響</p>	<p>知</p> <p>思</p>	<p>日本の民主化と再建の過程、冷戦などをとくに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>諸改革の展開と国際社会の変化に着目して、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかわりについて考察するなど事象を相互に関連付けるなどして現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>新しい日本、平和な日本へ</p>

		<p>努力について、身近な地域などの具体的な事例をもとにとらえさせる。</p> <p>④冷戦について、国際連合の発足、米ソ両陣営の対立、アジア諸国の独立、朝鮮戦争、その後の平和共存の動きなどを、日本の動きと関連させながら理解させる。</p>		主	<p>日本の民主化と冷戦下の国際社会について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
8 9	世界の多極化と日本の成長	<p>①日本が独立を回復して国際連合に加盟し、国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。</p> <p>②日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれともなう生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気付かせる。</p> <p>沖縄返還、日中国交正常化などを取り上げ、東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。</p>	<p>1. 日本の独立と世界の動き</p> <p>2. 冷戦下での日本とアジア</p> <p>3. 経済成長による日本の変化</p> <p>4. 日本の社会と国際関係の変化</p> <p>5. 大衆化・多様化する戦後の文化</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>高度経済成長、国際社会とのかかわりなどをもとに、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>日本の経済の発展について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	新しい日本、平和な日本へ
10	これからの日本と世界	<p>①世界規模での米ソ両陣営の対立が終わったことやその影響に気付かせ、冷戦終結後の国際協調の平和外交の推進や開発途上国への援助などもふまえ、国際社会において日本の役割が大きくなったことを理解させるとともに、公民的分野の学習に向けた課題意識を持たせる。</p> <p>②冷戦終結後も国際社会には、民族や宗教をめぐる対立、国家を超えた地域統合、地球環境問題とその取り組み、資源やエネルギーをめぐる課題など主権や人権、平和などさまざまな課題が存在していること、それらを解決するための人々の努力が重ねられていることに気付かせる。</p>	<p>1. グローバル化が進む世界</p> <p>2. 激変する日本とアジア</p> <p>3. 国際社会におけるこれからの日本</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>冷戦の終結をもとに、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などもふまえ、国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>グローバル化する世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	新しい日本、平和な日本へ

数学科 《第3学年》年間指導計画

数学科 教科目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 事象を数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

数学科 第3学年の目標

- (1) 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の 関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

第3学年年間指導計画（評価規準）

★ **知**は、数量や図形などについての知識・技能

考は、数学的な思考・判断・表現

態は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	重点目標	指導内容	評価規準	算数科との関連
4	ガイダンス <1時間>	3年数学科学習について、意欲を高める	数学科学習の意味・意義	態 数学科学習に対して関心をもち、意欲を高めようとしている。	
4	1 式の計算 <18時間>	式の展開、因数分解の意味を理解し、その方法を考察・表現したり、関係を捉えて説明したりすることができる。 学んだことを生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとする。	1 多項式の乗法と除法 2 因数分解 3 式の活用	知 展開と因数分解及び因数の意味を理解し、乗法公式や因数分解の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解することができる。 考 式の展開や因数分解の仕方を、交換、結合や分配法則などを用いたりして、既習の計算に帰着させて考え表現することができる。 態 一次式の乗法、式の展開と因数分解に関心をもち、それらの計算をしようとしている。	・文字を使った式 ・比の意味 (6年)
5	2 平方根 <18時間>	数の平方根の必要性和意味を理解し、平方根を含む式の計算ができ、具体的な場面で平方根を使って処理し、考察表現することができる。 学んだことを生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとする。	1 平方根 2 平方根の計算 3 平方根の活用	知 数の平方根の必要性和意味を理解し、計算することができる。分母を有理化することができる 考 数の平方根を含む式の計算を、既習の計算と関連付けて考え表現することができる。 態 数の平方根に関心をもち、その必要性和意味を考えたり、計算したりしようとしている。	・整数どうしの加減乗除・同分母分数の加減・交換、結合、分配法則 ・四則の相互関係(1～4年) ・整数、小数の記数法・小数の乗除 ・異分母分数の加減(5年) ・分数の乗除(6年)
6	3 2次方程式 <12時間>	2次方程式の必要性和意味およびその解の意味を理解し、因数分解や平方根の考え、解の公式を使って2次方程式を解くことができる。また、2次方程式を活用した問題の解決の仕方を知ることができる。 計算演習	1 2次方程式とその解き方 2 2次方程式の活用	知 2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解し解くことができる。 考 具体的な事象の中の数量の関係を捉え、2次方程式をつくり、解く方法を考察し表現することができる。 態 2次方程式とその解、2次方程式の活用に関心をもち、問題の解決にいかそうとしている。	・文字を使った式 ・比の意味 (6年)

8 9	4 関数 $y=ax^2$ <15時間>	関数 $y=ax^2$ について理解し、事象の中に $y=ax^2$ や他の関数関係があることを理解する。関数 $y=ax^2$ やいろいろな関数の特徴について、表、式、グラフを使って調べることができる。関数 $y=ax^2$ を活用した問題の解決の仕方を考えることができる。	1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ の活用 3 いろいろな関数	知 考 態	具体的な事象の中に関数 $y=ax^2$ とみなして変化や対応の様子について調べたり、予測したりできるものがあることを理解し、対応する値を求めることができる。 関数 $y=ax^2$ の特徴や表、式、グラフを相互に関連付けるなどして、2つの数量の関係を見だし、2数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 関数 $y=ax^2$ の特徴に関心をもち、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	•かかわり方 •ともなって変わる2つの数量の関係(4年) •比例の意味 •比例と反比例(6年)
10 11	5 相似な図形 <24時間>	平面図形の意味や三角形の相似条件、立体の相似、相似比と面積比・体積比について理解し、平行線と線分の比の関係や相似な図形の性質を使うことができる。三角形の相似条件などを使って、図形の性質を証明することができる。	1 相似な図形 2 平行線と線分の比 3 相似な図形の面積の比と体積の比 4 相似な図形の活用	知 考 態	図形の相似の意味を理解し、三角形の相似条件、平行線と線分の比、相似比と面積比、体積比の関係を使って、線分の長さ、面積、体積を求めることができる。 三角形の相似条件を用いて、見出した図形の性質などを証明し表現することができる。 相似な図形の性質に関心をもち、それについて考えようとしている。	•二等辺三角形、正三角形・台形、平行四辺形、ひし形(1~4年) •三角形や平行四辺形の面積(5年)
11 12	6 円 <10時間>	円周角の定理と円周角の定理の逆の意味を理解し、具体的な場面で使ったりすることができる。円周角の定理などを使って、問題の解決の仕方を考えることができる。	1 円周角の定理 2 円周角の定理の活用	知 考 態	円周角と中心角の関係を理解し、角の大きさを求めることができる。 円周角と中心角の関係をを用いることで、図形の性質などを考え表現することができる。 円周角と中心角に関心をもち、それらの関係や性質を見いだそうとしている。	•二等辺三角形、正三角形・台形、平行四辺形、ひし形(1~4年) •三角形や平行四辺形の面積(5年)
12 1	7 三平方の定理 <13時間>	三平方の定理や三平方の定理の逆の意味を理解し、具体的な場面で使ったりすることができる。いろいろな図形の中に直角三角形を見だし三平方の定理を活用して、生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりする。	1 三平方の定理 2 三平方の定理の活用	知 考 態	三平方の定理や三平方の定理の逆の意味を理解し、辺の長さを求めたり、三平方の定理の逆を用いて直角三角形であるかどうか見分けたりすることができる。 与えられた図形の中に直角三角形を見だし、三平方の定理を用いることで、図形の性質などを考え表現することができる。 直角三角形の3辺の長さに関心をもち、それらの間に成り立つ関係を見いだそうとしている。	•二等辺三角形、正三角形・台形、平行四辺形、ひし形(1~4年) •三角形や平行四辺形の面積(5年)
1 2 3	8 標本調査 <7時間>	標本調査や全数調査の必要性和意味を理解し、コンピュータなどの情報手段を使うなどして整理したりすることができる。標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現したり、活用して母集団の傾向を捉え説明することができる。学んだことを生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりする。	1 標本調査 2 標本調査の活用	知 考 態	標本調査や全数調査の必要性和意味を理解し、無作為に標本を抽出し、整理することができる。 標本調査を行い、母集団の傾向を捉え説明することができる。 標本調査に関心をもち、その必要性和意味を考えようとしている。	•資料の調べ方 •場合の数(6年)

※ 教科書の巻末の課題等を活用し、単元のまとめや3年間のまとめ、課題学習を適宜行う(22時間)。

令和5年度理科 《第3学年》年間指導計画

理科 教科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探求する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

理科 第3学年の目標

- (1) 水溶液の電気分解、電池の実験、酸・アルカリの共通の性質を見いだす実験、中和の実験を行い、その結果をイオンのモデルと結びつけて考察することのできる科学的思考力を身に付ける。
- (2) 生物の成長や生殖を細胞レベルでとらえさせ、親から子へ形質が伝わることによって、生命の連続性が保たれていることを理解するとともに、生命を尊重する態度を身に付ける。
- (3) 力のつり合いと合成・分解、物体にはたらく力と運動の間の規則性について理解する。また、エネルギーにはいろいろな種類があり、相互に変換しても総量が保存されることを理解する。
- (4) 太陽系の一員としての地球の特徴を理解し、その運動によって起こる日周運動、年周運動、季節の変化を理解する。また、太陽系外の宇宙について認識し、時間と空間の概念を習得する。
- (5) エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。また、自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解するとともに、人間と自然との関わり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度

★国は、主体的に学習に取り組む態度、関は、思考・判断・表現、知は、知識・技能

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連	
4 5	1 運動とエネルギー < 32時間 >	力のつり合いと合成・分解、物体にはたらく力と運動の間の規則性について理解する。また、エネルギーにはいろいろな種類があり、相互に変換しても総量が保存されることを理解する。	1章 力の合成と分解	主	力の合成分解、水圧、物体の運動、仕事とエネルギーに関する事物・現象にすすんで関わり、それを科学的に探究するとともに、事象を日常生活の関わりでみようとする。	振り子の運動(5年) てこの規則性(てこの利用)(6年)
			2章 水中の物体に加わる力	関	力の合成分解、水圧、物体の運動、仕事とエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
			3章 物体の運動	知	力の合成分解、水圧、物体の運動、仕事とエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得すると共に、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
			4章 仕事とエネルギー			
6 7	2 生命のつながり < 23時間 >	生物の成長や生殖を細胞レベルでとらえさせ、親から子へ形質が伝わることによって、生命の連続性が保たれていることを理解するとともに、生命を尊重する態度を身に付ける。	1章 生物の成長と増え方	主	生物の増え方や遺伝の規則性、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象にすすんで関わり、それを科学的に探究するとともに、事象を日常生活の関わりでみようとする。	動物の誕生(5年)
			2章 遺伝の規則性と遺伝子	関	生物の増え方や遺伝の規則性、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
			3章 生物の種類の多様	知	生物の増え方や遺伝の規則性、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を	

9	4 化学変化とイオン <26時間>	水溶液の電気分解、電池の実験、酸・アルカリの共通の性質を見いだす実験、中和の実験を行い、その結果をイオンのモデルと結びつけて考察することのできる科学的思考力を身に付ける。	性と進化		身に付けている。	
			1章 水溶液とイオン	主	イオン、化学変化と電池、酸アルカリに関する事物・現象にすすんで関わり、それを科学的に探究するとともに、事象を日常生活の関わりでみようとする。	水溶液の性質(気体が溶けている水溶液)(6年) 水溶液の性質(酸性、アルカリ性、中性)(6年) 水溶液の性質(金属を変化させる水溶液)(6年)
			2章 化学変化と電池	思	イオン、化学変化と電池、酸アルカリに関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
3章 酸、アルカリとイオン	知	イオン、化学変化と電池、酸アルカリに関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得すると共に、観察実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。				
10 11	5 地球と宇宙 <27時間>	太陽系の一員としての地球の特徴を理解し、その運動によって起こる日周運動、年周運動、季節の変化を理解する。また、太陽系外の宇宙について認識し、時間と空間の概念を習得する。	1章 天体の動き	主	天体の動き、月と惑星、宇宙に関する事物・現象にすすんで関わり、それを科学的に探究するとともに、事象を日常生活の関わりでみようとする。	月と星(4年) 月と太陽(月の位置や形と太陽の位置)(6年)
			2章 月と惑星の運動	思	天体の動き、月と惑星、宇宙に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
			3章 宇宙の中の地球	知	天体の動き、月と惑星、宇宙に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得すると共に、観察実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
12 1	3 自然界のつながり <11時間>	自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解するとともに、自然界を循環する物質について、日常生活とのつながりから考える。	1章 生物どうしのつながり	主	生物どうしのつながりと自然界を循環する物質に関する事物・現象にすすんで関わり、それを科学的に探究するとともに、事象を日常生活の関わりでみようとする。	生物と環境(6年)
			2章 自然界を循環する物質	思	生物どうしのつながりと自然界を循環する物質に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
				知	生物どうしのつながりと自然界を循環する物質に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得すると共に、観察実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
	6 地球の明るい未来のために <21時間>	エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。また、人間	1章 自然環境と人間	主	自然環境と人間、科学技術と人間に関する事物・現象にすすんで関わり、それを科学的に探究するとともに、事象を日常生活の関わりでみようとする。	電気の利用(6年) 生物と環境(6年)
			2章 科学技術と人間	思	自然環境と人間、科学技術と人間に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
				知	自然環境と人間、科学技術と人間に関する事物・現象についての観察、実験の	

2		<p>と自然との関わり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。</p>	<p>終章 これからの私たちの暮らし</p>	<p>基本操作を習得すると共に、観察実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p>	
3					

令和5年度音楽科 《第3学年》年間指導計画

音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

音楽科 第2学年及び第3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

知は、知識及び技能 思は、音楽の思考力、判断力、表現力等、学は、学びに向かう力

	題材名(配当時間)	指導目標	指導内容	共通事項	評価規準	1学年との関連	
4	日本の歌の美しさを味わおう <2時間> 「花」	歌詞にこめられた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫させる。 詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現させる。 	共通事項 リズム 旋律 強弱 音色 a tempo フェルマータ rit. pp	知	詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現できたか。	歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 (表現 歌唱)
					思	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫している。	
5	日本伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。 <3時間> 歌舞伎 「勸進帳」	総合芸術の比較鑑賞から音楽の多様性を理解することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> オペラや歌舞伎について理解させる。 音楽の特徴や多様性について味わい、その良さの根拠を言葉で説明させる。 	共通事項 旋律 リズム 音色 構成	学	曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。(鑑賞)
					思	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
6	曲想を生かして表情豊かに歌おう。 <3時間> 「帰れソレントへ」	調や速度の変化による曲想の違いを感じ取りながら、楽曲の構成を理解し、カンツォーネの表現ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜に表示されている速度用語の意味を理解させる。 原語による範唱を聴かせ、調や速度の変化を生かしながら表情豊かに歌われていることに気付かせる。 	共通事項 速度 強弱 構成	知	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。
					思	速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもってしている。	
7	【合唱コンクールに向けての取り組み】 混声合唱を表現豊かに歌おう <11時間> 「大地讃頌」 学級の雰囲気合った曲	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。 声部の役割や全体の響き、曲の速度や強弱の働きなどを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲のしくみを理解して表現を深めさせる。 強弱や速度の変化を生かして合唱させる。 言葉を大切に、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫させる。 	共通事項 音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成 ルーテ 和音 rit. a tempo legato pp ff accel. dim. テヌート フェルマータ 16分休符	知	混声四部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 (表現 歌唱)
					思	① 歌詞の内容や曲想。 ② 発声や言葉の特性。 ③ 声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化を知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。	
9					学	① 歌詞の内容や曲想。 ② 発声や言葉の特性。 ③ 声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化に関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。	

10	曲の背景や歴史を知って、音楽の変化を味わおう。 ＜3時間＞ 音楽史	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解しながら味わい、各時代の中で音楽がどのように変化、発展していったのか意識しながら鑑賞することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・中世から近現代の各時代の音楽の特徴を理解させる。 ・各時代の作曲家や作曲された曲について理解を深めさせる。 ・各時代の音楽を鑑賞し、流れの変化や共通点などを知覚し、言葉で説明させる。 	思	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。(鑑賞)
				学	各時代の音楽の特徴がその背景となる文化・歴史や他の芸術との関わっていることに興味をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
11	世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。 ＜2時間＞ 世界の諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聴くことができるようにする。 ・我が国や郷土の伝統音楽と比較し、その特徴から生まれる音楽の多様性について関心を持って聴くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けさせる。 ・世界の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について関心をもち、言葉で説明させる。 	思	①要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。 (鑑賞5、6年)
				学	音楽の特徴とその背景となる文化・歴史に関心をもって鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
12	リズムの反復、変化、重なり方のおもしろさを味わおう。 ＜2時間＞ 「ポディーパーカッション」	リズムの重なりを聴き合い、強弱の変化を味わいながらアンサンブルをすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの反復、変化、重なり方を感じ取らせる。 ・アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の動きを理解し、表現を工夫させる。 	知	他のパートとの関わり方をじっくり理解し、自らの意図を反映しながらアンサンブルをしたり、つくったりするための技能を身に付けて表現している。	音楽の特徴を理解し、表現を工夫すること。(表現 創作)
				思	アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の動きを理解し、自らの意図をもち表現を工夫している。	
				学	リズムの反復、変化、重なり方に興味をもち、体を使ったアンサンブル表現を工夫する学習に意欲的に取り組もうとしている。	
1	強弱の変化を生かした表現を工夫しよう ＜2時間＞ 「早春賦」	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴やフレーズを感じ取り、それぞれの部分になぜその強弱記号がついているのかを考え、音楽表現を工夫することができる。 ・歌詞の表す情景を想像し、春の訪れを待つ心情を理解しながら、表情豊かな音楽表現を工夫することができる。 ・日本を代表する作詞者・作曲家について知り、日本歌曲のよさや美しさを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の起伏を旋律線から感じ取り、それと強弱との関係がどうなっているかを確かめて、それらを生かした表現を工夫させる。 	知	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 (表現 歌唱)
				思	強弱や形式の特徴を感じ取り、歌詞の内容や曲想を味わいながら曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	
				学	歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	
2	感謝の気持ちを合唱で届けよう 【卒業式に向けての合唱曲】 ＜7時間＞ 式歌	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 ・声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 	知	混声四部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容、曲想を生かした表現の工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 (表現 歌唱)
				思	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。	
				学	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。	

令和5年度美術科<第3学年>年間指導計画

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第3学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、思は、美術の思考力、判断力、表現力等、学は、学びに向かう力

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	オリエンテーション <1時間>	美術科学習について意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・心構え、授業内容の説明 ・年間授業内容・評価方法などの説明 	学	学習内容に関心を持って意図的に授業に取り組むことができたか。
	日本の美術 <2時間> 鑑賞	仏教などの造形的な特徴や、そこに込められた思いを感じ取る。 文化遺産や歴史的建造物の造形的な魅力を感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・京都、奈良で鑑賞する文化財について学び、その良さや美しさを感じ取る。 	学 思	日本美術の良さ、美しさを味わい、意欲的に伝統文化に対する理解を深めようとする。 感性や想像力を働かせて、日本美術の造形的な良さや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、伝統文化への見方や理解を深めている。
5月	「ゲルニカ」は語る。 <2時間> 鑑賞	形や色彩、構図や描き方、制作過程から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から時代背景や作者の心情などを読み解き、美術のもつ力について意見を交わす。 ・作品を鑑賞し、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品からうける思いについて意見を述べ合う。 	学	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に感じ取り愛情を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
				思	「ゲルニカ」の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
6月	ポスタリゼーション <9時間> 絵画	明暗の差を生かした表現効果を考え、材料や用具を工夫して表現することを通して、主題を表現する手法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・明暗の差を生かしたデザインを考える。 ・図案に沿って効果的に道具を使い制作する。 ・ポスタリゼーション表現の特徴や味わいをもとに発想を広げ、主題を生み出す。 ・ポスタリゼーション表現の効果や技法による表現の違いを感じ取る。 	学	ポスタリゼーション表現の特徴や味わいを生かして表現することに関心を持ち、ポスタリゼーション表現の特性を生かそうとしている。
知				感性や想像力を働かせてポスタリゼーション表現の特徴や味わい、対象を見つめ感じ取ったこと、考えたことを基に構想を練っている。 ポスタリゼーションに用いる材料や用具の特性を生かすとともに、表現の工夫をしている。	
思				ポスタリゼーションで表現された作品のよさや美しさ、面白さを感じ取り味わっている。	
7月					
8月					
9月					

10月	やさしさのデザイン ＜2時間＞ 鑑賞	使いやすさや安全性、使用するものの気持ちなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫したデザインを鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインについて学び、思いやりのデザインを学ぶ グループでユニバーサルデザインについて話し合い、使いやすさを追求する。 	<p>学</p> <p>ユニバーサルデザインに関心を持ち、表現の工夫や思いやりの気持ちを感じ取ろうとしている。</p>	
				<p>思</p> <p>より多くの人がわかりやすく使うことができる洗練されたデザインや作り手の意図を感じ取り、自分の価値意識をもって話し合いに参加している。</p>	
11月	使いづらいペーパーナイフ ＜8時間＞ デザイン	ペーパーナイフとしての機能を損ねることなく、あえて精神的に使いづらいデザインを考え、制作することを通して、プロダクトデザインについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> プロダクトデザインについて学び、普段何気なく使われている身の回りの物のデザインのすばらしさを学ぶ。 多くの人に製品の魅力が伝わるようなドリンクのパッケージを発想し、形や色彩の効果などを考え構想を練る。 	<p>学</p> <p>プロダクトデザインに関心を持ち、デザインの工夫などを感じ取ったりしようとしている。</p>	
				<p>知</p> <p>中身のイメージを多くの人に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え構想を練っている。考えたデザインをもとに、デザインの意図が伝わるように制作することができている。</p>	
				<p>思</p> <p>伝えることと形や色彩などとの調和のとれた美しさ、作り手の意図を感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p>	
1月	私との対話 ＜5時間＞ 表現	これまでの自分やこれからの自分について、自分自身と向き合い対話しながら表現することを通して、卒業後の自分を思い描き、より良い生き方を探る手掛かりにする。	<ul style="list-style-type: none"> これまで学んできた表現方法を生かして、自分自身と向き合い主題を考えて絵や立体などの方法で表現する。 	<p>学</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
				<p>知</p> <p>自分の内面と向き合い、感じて考えたことをもとに形や色彩などの効果を生かした表現方法を考え構想を練っている。絵や立体など様々な表現方法を工夫して、自分自身を表現することができている。</p>	
				<p>思</p> <p>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	
2月	卒業記念キーホルダー ＜6時間＞ 表現	自分の体験、見たことや聞いたことなどから空想を広げて主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 心の中を深く見つめ、想像力を働かせて自分自身をイメージしながら主題を生み出す。 友達の作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り話し合う。 	<p>学</p> <p>雄朱制作に関心を持ち、デザインの工夫などを感じ取り、自分の制作に生かそうとしている。</p>	
				<p>知</p> <p>これまでの体験や心の世界などを基に、主題を生み出し、単純化や強調、構成を工夫し表現の構想を練っている。材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>	
				<p>思</p> <p>造形的な良さや創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p>	
3月					

保健体育科《第3学年》年間指導計画

保健体育科 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

保健体育科 第3学年の目標

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 運動について自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

★**知**は、「知識及び技能」**思**は、「思考力、判断力、表現力」、**主**は、「主体的に取り組む態度」

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	体づくり運動 <7時間>	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	体ほぐしの運動 体力を高める運動 新体力テスト	知 ○運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 思 ○自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 主 ○体づくり運動に積極的に取り組んでいる。 ○仲間の学習を援助しようとしている。 ○一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。 ○話し合いに参加している。	体づくりの運動 1年～6年 ・体ほぐしの運動② 1年～2年 ・運動遊び ・力試し、用具 3年～4年 ・多様な動きをつくる運動⑥⑦ 5年～6年 ・体力を高める運動
4 5	陸上競技 <9時間>	短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡しで次走者のスピードを高められるようにする。	短距離走 リレー	知 ○短距離走・リレーの特性や成り立ち、技術の名称や動きのポイントを理解している。 ○スタート時に地面を力強くキックし、徐々に状態を起こして、加速することができる。 ○リレーの次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めることができる。 思 ○自己の課題を発見している。 ○運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 主 ○勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ○健康・安全に気を配る。	1年～2年 ・走の運動遊び⑥⑦ ・跳の運動遊び③④ 3年～4年 ・かけっこ、リレー 5年～6年 ・短距離走、リレー⑤ ・走り幅跳び④ ・走り高跳び④
6	球技 ネット型 バレー ボール <8時間>	ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして相手側のコート上の空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	バレーボール	知 ○技術や戦術の名称やポイントを理解している。 ○サーブやスパイクを狙った位置に打つことができる。 ○次のプレイがしやすい高さや位置にボールを上げることができる。 ○ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 思 ○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 主 ○練習やゲームなどに積極的に参加している。 ○作戦などの話し合いに参加している。 ○健康・安全に気を配っている。	3年～4年 ・ネット型 5年～6年 ・ネット型
6 7	水泳 <9時間>	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ及びバタフライの4種類の泳法と複数で泳ぐこと、又はリレーをすることができるようにする。	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ	知 ○水泳の特性に応じた効率的な泳法を身に付けている。 ○技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 思 ○泳法などの自己の課題を発見して合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 主 ○水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に取り組んでいる。	1年～2年 ・水に慣れる遊び、浮く、もぐる遊び⑧ 3年～4年 ・浮く運動、泳ぐ運動 5年～6年 ・クロール、平泳ぎ②⑧
9	陸上競技	記録の向上や競争の楽し	ハードル走	知 ○ハードル走に関連して高まる体力を理解している。	・走の運動遊び⑥⑦ 1年～2年

	<6時間>	さや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けつけることができるようにする。 リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すこと。			○リズムカルで滑らかにハードルを越すことができる。 ○自己の課題を発見している。 ○運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ○一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	・跳の運動遊び③④ 3年～4年 ・幅跳び④⑤ ・ハードル走④ ・走り幅跳び④ ・走り高跳び④ 5～6年
9	球技 ベース ボール型 ソフト ボール <9時間>	易しい投球に対する安定したバット操作による攻撃と、仲間と連携した守備のバランスの取れた攻防を展開できるようにする。	ソフトボール	知 思 主	○技術や戦術の名称やポイントを理解している。 ○身体の軸を安定させて狙った方向にボールを打ちかえすことができる。 ○ねらった方向へステップを踏みながら一連の動きでボールを投げるができる。 ○打球や走者の位置に応じて連携した守備を展開することができる。 ○作戦など自己の考えたことを振り返ったり、他者に伝えたりしている。 ○フェアなプレイを守ろうとする。 ○一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとしている。 ○仲間の学習を援助しようとする。	1年～2年 ・ボール遊び、 ボールゲーム⑥⑧ 3年～4年 ・ベースボール型ゲーム⑧ 6年 ・ベースボール型⑥
10	武道 <7時間>	相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防を展開できるようにする。	柔道	知 思 主	○伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。 ○攻防を展開するために必要なポイントを踏まえた得意技を身に付けている。 ○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ○相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守っている。 ○分担した役割を果たしている。 ○禁止技を用いないなど健康・安全に気を配っている。	
11	器械運動 <5時間>	回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることが出来るようにする。	マット運動 跳び箱	知 思 主	○技の特性に応じた合理的な動き方のポイントを理解している。 ○学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回ったり回転したりすることが出来る。 ○学習した基本的な技を発展させて、跳び超すことができる。 ○自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ○自己の考えを他者に伝えている。 ○よい演技を認めている。 ○仲間の学習を援助している。 ○一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	1年～2年 ・マットを使った運動遊び ・跳び箱を使った運動遊び 3年～4年 ・マット運動⑤ ・跳び箱運動⑤ 5年～6年 ・マット運動④⑤ ・跳び箱運動④⑤
12	ダンス <5時間>	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを捉えた表現や踊りを通して交流ができるようにする。多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現をしたりして踊ること。	創作ダンス	知 思 主 思 主	○ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解している。 ○動きに変化をつけて即興的に表現することができる。 ○表現などの自己の課題を発見している。 ○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○仲間の学習を援助しようとしている。 ○交流などの話合いに参加している。 ○一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとしている。 ○自己の課題を発見している。 ○運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ○健康・安全に気を配る。	・表現リズム遊び 1・2年 ・表現 3～6年
1	球技 ゴール型 バスケット	ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開すること。	バスケットボール	知	○技術や戦術の名称やポイントを理解している。 ○コントロールしたパスやシュートをすることができる。 ○守備者とボールの間に自分の身体を入れてボールをキープすることができる。	3年～4年 ・ゴール型ゲーム⑩ 5年～6年 ・ゴール型バスケットボール⑦

	トボール <8時間>				○空間をつくったり使ったりする動きをすることができる。	
				思	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	
				主	○練習やゲームなどに積極的に参加している。 ○作戦などの話し合いに参加している。 ○健康・安全に気を配っている。	
2	球技 ゴール型 サッカー <8時間>	勝敗を競う楽しさや喜び 味わい、体力の高め方や 運動観察の方法などを理 解するとともに、作戦応 じた技能で仲間と連携し ゲームを展開できるよう になる。また、安定した ボール操作と空間を作り 出すなどの動きによって ゴール前への侵入などか ら攻防できるようになる。	サッカー	知	○技術や戦術の名称やポイントを理解している。 ○コントロールしたパスやシュートをすることができる。 ○守備者とボールの間に自分の身体を入れてボールをキープすることができる。 ○空間をつくったり使ったりする動きをすることができる。	3年～4年 ・ゴール型ゲーム⑩ 5年～6年 ・ゴール型サッカー⑦
				思	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	
				主	○練習やゲームなどに積極的に参加している。 ○作戦などの話し合いに参加している。 ○健康・安全に気を配っている。	
3	陸上競技 <5時間>	記録の向上や競争の楽し さや喜びを味わい、基本 的な動きや効率のよい動 きを身に付けつけること ができるようにする。 ペースを守り一定の距離 を走ること。	長距離走	知	○長距離走の特性や成り立ち、技術の名称や行い方その運動に関連して高まる体力などを理解している。 ○ペースを守って走ることができる。	・走・跳の運動遊び (1・2年) ・走・跳の運動 (3・4年) ・陸上運動(5・6年)
				思	○自己の課題を発見している。 ○運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	
				主	○積極的に走っている。 ○一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	
4 3	保健分野 <16時間>	個人生活における健康・ 安全について理解すると ともに、基本的な技能を 身に付ける。 健康についての自他の課 題を発見し、よりよい解 決に向けて思考し判断す るとともに、他者に伝え ることができるようにす る。	健康な生活と 病気の予防 普通救命講習 セーフティ 教室(薬物乱用 防止教室)	知	○健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活行動・生活習慣と健康、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、感染症の予防、保健・医療機関や医薬品の有効利用、個人の健康を守る社会の取組について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活との関わりを理解している。	5年～6年 ・けがの防止④ ・病気の予防④
				思	○健康な生活と疾病の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。	
				主	○健康な生活と疾病の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	
11	体育理論 <3時間>	文化としてのスポーツの 意義について理解でき るようにする。 体育の見方・考え方を育 み、現在および将来にお ける自己の適正等に応じ た運動やスポーツとの多 様な関わり方を見つける ことができるようにす る。	文化としての スポーツの意 義	知	○スポーツおよび国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割について理解している。	
				思	○文化としてのスポーツの意義について、学習した知識を活用したり応用したりしている。	
				主	○文化としてのスポーツの意義について、課題を解決するための活動などを通して、学習に自主的に取り組もうとしている。	

技術・家庭科 《第3学年技術分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(例) 知は生活や技術についての知識・理解・技能、思は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、主は主体的に学習に取り組む態

	単元名	指導目標	指導内容		評価規準	小学校との関連
4	ガイダンス <1時間>	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	①技術と私たちの生活や環境との関わり	知	技術と生活の関係に気づき技術に役割に関心を示している。	環境学習との関連
5	B エネルギー変換の技術 <17時間> 実施時期は、通年で行う。	エネルギーの生活と社会に果たす役割を理解する。 エネルギー変換の仕組みと安全な利用方法を知る。 エネルギーの適切な活用について考える。 簡単な電気製品(テーブルタップ)の製作を行う。	①私たちの生活とエネルギー	知	エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとしているとともに、適切な解決策を示そうとしている。	理科4年生「電気の働き」との関連。 理科5年生「電流の働き」との関連 理科6年生「電気の利用」「燃焼の仕組み」との関連 小学校総合的な学習の時間 探究的な学習活動における学習課程 「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の各活動との関連
6			②エネルギー資源の種類			
7			③エネルギーの変換と利用	思	製作品の使用目的や使用条件を明確にし、設計要素を検討し製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造などを決定している。	
9			④動力伝達のしくみ ⑤運動を変化させるしくみ			
10			⑥機器の保守点検と整備	主	機器の点検すべき箇所を見付け、保守点検と事故防止ができる。 漏電、感電、加熱及び短絡による事故を防止できる。 設計に基づき安全を踏まえた製作品の組み立て調整ができる。	
11			⑦機器の安全な利用と事故防止			
12	⑧電気実験	思	機器の定期点検の必要性についての知識を身に付けている。 組み立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身に付けている。 エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。			
1	⑨簡単な電気製品の製作を指導する					
2	B エネルギー変換の技術	タブレットを用いてパワーポイントでまとめる。	⑩エネルギー変換と社会とのかかわりについて、まとめる。			
3						

技術・家庭科 《第3学年家庭分野》年間指導

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとす能力と態度を育てる。

★**知**は生活や技術についての知識・理解・技能、**思**は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、**主**は主体的に学習に取り組む態度

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4 5	A 家族・家庭生活 自分の成長と家族・家庭生活 <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での活動を考え、家庭のはたらきを理解する ・家庭のはたらきと社会のつながりを理解する ・家庭生活と地域との関わりについて理解する 	<ol style="list-style-type: none"> ① 今の自分とこれまで ② わたしの生活と家族・家庭 ③ 家庭で支える社会 ④ 中学生にとっての家族 	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭のはたらきを支える条件について理解している。 ・家庭のはたらきと社会のつながりについて理解している。 	
6 7	幼児の生活と家族 <6時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期への関心をもつ。 ・幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解する ・幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ・子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する ・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する ・幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する 	<ol style="list-style-type: none"> ① 幼児のころと今の自分 ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達 ④ 発達にとってのおとなの役割 ⑤ 遊びが必要なわけ ⑥ 遊びを支える環境 	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達、心の発達について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長したわたしたち（家庭） ・自分のことをもっと知りたいな（低学年 生活） ・見つめてみようわたしたちと家族の生活（家庭）
9	幼児とのかかわり <2時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活に役立つものを作ろう ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で、中学生ができることを考える。 	④子どもの成長と地域	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活に役立つものの材料を選び、幼児に配慮して作ることができる。 	
10 11 12	家庭生活と地域の関わり <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ・地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭生活と地域での活動 ② 多様な人びとが暮らす地域 ③ 地域に暮らす高齢者 ④ 高齢者とのかかわり 	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活は地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・地域の人々と関わり、 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくミシン（家庭） ・生活を楽しくしようソーイング（家庭）

1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかわりを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> 共同する方法について問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察している。 	
3	3年間を振り返って <0.5時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。 	3年間を振り返って	国 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭分野で学習してきたことをこれからの生活に生かそうとしている。 	

令和 5 年度外国語科 《第3学年》年間指導計

外国語科 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力

第3学年の目標

- (1) 理解した内容を英語で説明するために、海外の文化や社会的な話題についての会話や説明などを聞いて、話の要点を捉えることができる。
- (2) 内容についての賛否や自分の考えを述べるために、海外の文化や社会的な話題についての説明などを読んで、話の要点を捉えることができる。
- (3) 相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりするために、海外の文化や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、読み取ったことや感じたこと、考えたことを伝え合うことができる。
- (4) 理解した内容を口頭で要約したり、自分の考えや気持ちを伝えたりするために、海外の文化や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容について、自分で作成したメモなどを活用して話すことができる。
- (5) 自分の考えや気持ち、その理由などを伝えるために、海外の文化や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。

New Horizon English Course 3 総時数140時間

★ 知 知識・技能 / 思 思考・判断・表現 / 態 主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages <3時間>	* これまでに学んだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり書いたりすることができる。	◆ 受け身	思 行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり書いたりするために、世界の言語について書かれた文章の情報を読み取っている。	NHE ... NEW HORIZON Elementary
	学び方コーナー① <2時間>	* 英語の語いや表現を増やすために、英語の語の仕組みや性質について知る。	語い・表現の増やし方	態 英語の語いや表現を増やすために、英語の語の仕組みや性質についての知識を活用しようとしている。	
	Unit 1 Sports for Everyone <10時間>	* これまでの経験について理解したり伝えたりするために、情報を整理して要点を捉えたり伝えたりすることができる。	現在完了形(経験用法, 平叙文)	知 [技能] 現在完了形(経験用法)などの理解をもとに、これまでの経験したことについて理解したり即興で伝えたりする技能を身につけている。	
		* 相手のことを知るために、これまでの経験について、簡単な語句や文を用いてたずねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	現在完了形(経験用法, 疑問文)	思 相手のことを知るために、これまでの経験について、簡単な語句や文を用いてたずねたり、相手からの質問に答えたりしている。	
		* スポーツが持つ力を理解するために、障がい者スポーツについて書かれた文章の概要を捉えたり、人の気持ちの変化について伝えたりすることができる。	SVOC(C=形容詞)	思 スポーツが持つ力を理解するために、障がい者スポーツについて書かれた文章の概要を捉えたり、人の気持ちの変化について簡単な語句や文を用いて話したりしている。	
	* 人々を結びつけるスポーツの力について理解するために、障がい者スポーツを支える技術の進歩について書かれた文章の概要を捉えたり、伝えたりすることができる。	SVOO(that節)	思 人々を結びつけるスポーツの力について理解するために、障がい者スポーツを支える技術の進歩について書かれた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて話したりしている。		
	* 日本を訪れる外国人に楽しんでもらうために、その人の経験や希望をもとに、日本滞在中のプランを考えて発表したり、メールを書いたりすることができる。	◆ 現在完了形(経験用法), SVOC(C=形容詞), SVOO(that節)	思 日本を訪れる外国人に楽しんでもらうために、その人の経験や希望をもとに、日本滞在中のプランを考えて発表したり、メールを書いたりしている。		
5	Let's Write 1 有名人への手紙 <3時間>	* 気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。	◆ 現在完了形(経験用法), SVOC(C=形容詞)	思 好きな有名人などに自分の気持ちや感想を伝えるために、表現方法を工夫しながら、ファンレターを書いている。	
	Let's Listen 1 ディスカッション <1時間>	* ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるのに必要な情報を理解することができる。	◆ 現在完了形(経験用法), SVOC(C=形容詞), SVOO(that節)	思 自分の意見を考えて述べるのに必要な情報を理解するために、修学旅行で行きたい場所についてのディスカッションを聞いて、要点を聞き取っている。	
	Unit 2 Haiku in English <10時間>	* すでに終わったかどうかを知るために、宿題などの状況について概要を捉えたり、即興で伝え合ったりすることができる。	現在完了形(完了用法)	態 すでに終わったことについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分がまだ終わっていないことについて即興で伝え合ったりしようとしている。	
	* 相手のことを知るために、ある場所に住んでいる期間などについて相手にたずねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	現在完了形(継続用法)	知 [技能] 現在完了形(継続用法)などの理解をもとに、続いている状態やその期間についての対話の内容を捉えたり、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりする技能を身につけている。		
	* 海外でも愛される日本の伝統文化の魅力を知るために、日本の俳句について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりすることができる。	現在完了進行形	思 海外でも愛される日本の伝統文化の魅力を知るために、日本の俳句について書かれた文章の概要を捉えたり書いたりしている。		

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
		* 言語や文化のちがいで理解するために、英語の俳句の書き方のルールについて書かれた文章から情報を読み取ったり、英語俳句を書いたりすることができる。	◆現在完了形、 現在完了進行形	思 言語や文化のちがいで理解するために、英語の俳句の書き方のルールについて書かれた文章から必要な情報を読み取ったり、英語俳句を書いたりしている。	
		* おたがいの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、たずね合って答えたり、伝えたりすることができる。	◆現在完了形、 現在完了進行形	思 おたがいの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、たずね合って答えたり、伝えたりしている。	
	Let's Talk 1 はじめての出会い <2時間>	* 初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。	Welcome to We've been looking forward to ◆現在完了形、 現在完了進行形	思 初対面の場面で歓迎の気持ちを伝えられるように、相手の状況に配慮しながら言葉をかけたり、相手に質問したり答えたりしている。	Welcome to NHE5年 Unit 7
6	Grammar for Communication 1 <4時間>	* 現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆現在完了形、 現在完了進行形	知 [技能] 現在完了形や現在完了進行形を用いて、これまでの経験や、過去から現在へとつながる状態や動作を伝える技能を身につけている。	
	Learning SCIENCE in English <4時間>	* 人間と環境の関係を考えるために、食物連鎖や生態系について整理し、情報をやり取りしたり書いたりすることができる。	◆受け身、現在完了形、 現在完了進行形	思 生態系に起こっている問題を知るために、人間と環境の関係について書かれた文章の概要を読み取ったり、生物同士の関係性を整理し、情報を伝え合ったり書いたりしている。	
	Let's Listen 2 講演 <1時間>	* 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。	◆現在完了形、 現在完了進行形	思 話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えている。	
	Unit 3 Animals on the Red List <10時間>	* 私たちにとって大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを話したり書いたりすることができる。 * だれかにしてほしいことを伝え合うために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章を理解したり、伝え合ったりすることができる。 * 環境問題について考えるために、絶滅のおそれのあるトキについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを書いたりすることができる。 * 環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのあるゴリラについて書かれた文章を読んで、概要を捉えたり、自分たちの行動について意見交換をしたりすることができる。 * 絶滅のおそれのある動物を守るために、現状と自分の意見や考えを整理して、簡単な語句や文を用いて記事を書くことができる。	It is ... (for+ (人など))+ to want+ (人など)+ to let [help]+ (人など)+ 動詞の原形 ◆ It is ... (for+ (人など))+ to, let [help]+ (人など)+ 動詞の原形 ◆ It is ... (for+ (人など))+ to, want+ (人など)+ to, let [help]+ (人など)+ 動詞の原形	態 私たちにとって大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを話したり書いたりしようとしている。 態 だれかにしてほしいことを伝え合うために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章を理解したり、伝え合ったりしようとしている。 思 環境問題について考えるために、絶滅のおそれのあるトキについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを書いたりしている。 思 環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのあるゴリラについて書かれた文章を読んで、概要を捉えたり、自分たちの行動について意見交換をしたりしている。 思 絶滅のおそれのある動物を守るために、現状と自分の意見や考えを整理して、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。	
	Let's Write 2 記事への意見 <3時間>	* 社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。	I (do not) think I have two reasons. First, Second,	思 社会的な話題に関しての英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書いている。	
	Grammar for Communication 2 <4時間>	* 不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆不定詞	知 [技能] 不定詞を用いて、人にしてほしいことや、人にとって大切なことなどを伝える技能を身につけている。	
	学び方コーナー② <2時間>	* パラグラフの構成の仕方を理解する。	文章の組み立て方	態 「主題文」「支持文」「結論文」をつなげて、パラグラフを構成しようとしている。	
7	Stage Activity 1 My Activity Report <4時間>	* これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	◆既習事項の総復習 Word Room (学校での活動, 経験)	思 部活動や委員会などの活動について知ってもらうために、活動報告の構成を理解したうえで、経験やほかの人へのメッセージを即興で話したり、内容についてのやり取りや原稿の推敲を通してまとまりのある文章を書いて発表したりしている。	
	Let's Read 1 A Mother's Lullaby <4時間>	* 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。	◆既習事項の総復習	思 気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。	
9	Let's Listen 3 ラジオの災害情報<1時間>	* 災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解することができる。		思 どう行動すればよいかを理解して人に伝えられるように、災害情報を聞いて必要な情報を聞き取っている。	
	Unit 4 Be Prepared and Work Together	* 防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査とその結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりすることができる。	間接疑問文	態 防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査とその結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりしようとしている。	

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
	<10時間>	*防災の意識を高めるために、どこにあるか、どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼することができる。	SVOO(what節)	態 防災の意識を高めるために、どこにあるか、どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼しようとしている。	
		*防災・安全への関心を高めるために、日本で地震にあった外国人の体験談について書かれた文章の要点を捉えたり、どのような人かを説明したりすることができる。	現在分詞	思 防災・安全への関心を高めるために、日本で地震にあった外国人の体験談について書かれた文章の要点を捉えたり、どのような人かを説明したりしている。	
		*地域の一員として防災に取り組む意識を持つために、外国人支援の取り組みについて書かれた文章の要点を捉えたり、説明したりすることができる。	過去分詞	思 地域の一員として防災に取り組む意識を持つために、外国人支援の取り組みについて書かれた文章の要点を捉えたり、説明したりしている。	
		*防災への意識を高めるために、標識が何を意味しているかについて、話したり書いたりすることができる。	◆間接疑問文, SVOO(what節), 現在分詞	思 防災への意識を高めるために、標識が何を意味しているかについて、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりしている。	
Let's Talk 2 町中での手助け <2時間>	*相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。	Can I help you? Shall I ...? Would you like me to ...? ◆間接疑問文	思 困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしている。		
Learning CIVICS in English <3時間>	*選挙と投票について考えを深めるために、投票率に関する資料から読み取ったことを伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりすることができる。	◆間接疑問文	思 選挙と投票について考えを深めるために、投票率に関する資料から読み取った情報を伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりしている。		
Let's Listen 4 テレビの国際ニュース <1時間>	*ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。	◆現在分詞, 過去分詞	思 自分の言葉で説明できるように、ニュースや国の紹介のテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を捉えている。		
Unit 5 A Legacy for Peace <10時間>	*どのような人[もの]かを理解するために要点を捉えたり、言葉に情報を加えてどのような人[もの]かを説明したりすることができる。	名詞を修飾する文(接触節)	態 どのような人[もの]かを理解するために要点を捉えたり、言葉に情報を加えてどのような人[もの]かを説明したりしようとしている。		
10		*どのような人かを理解したり伝えたりするために、要点を捉えたり、言葉に情報を加えて説明したりすることができる。	関係代名詞 who	態 どのような人かを理解したり伝えたりするために、要点を捉えたり、言葉に情報を加えて説明したりしようとしている。	
		*平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明したりすることができる。	関係代名詞 that [which] (主格・目的格)	思 平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明したりしている。	
		*あこがれの人物を紹介するために、その人についての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表したり、その内容について質問したりすることができる。	◆名詞を修飾する文, 関係代名詞	思 あこがれの人物を紹介するために、その人についての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表したり、その内容について質問したりしている。	
Let's Write 3 グラフや表の活用 <3時間>	*資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。	◆関係代名詞	思 興味を持った話題を人に伝えることができるように、資料から読み取った情報について、事実と意見を整理し、まとまりのあるレポートを書いている。		
Grammar for Communication 3 <4時間>	*後置修飾を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆後置修飾	知 [技能]後置修飾を用いて、情報を加えて説明する技能を身につけている。		
Stage Activity 2 Discover Japan <4時間>	*日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。	◆既習事項の総復習 Word Room(日本の行事, 日本の風物)	思 日本を訪れる人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化について書かれた文章を読んだり質問し合ったりして、詳しい情報を加えながらまとまりのある文章を書いて紹介している。		
Let's Listen 5 世界で働く人へのインタビュー <1時間>	*人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる。	◆SVOO(what節)	思 働く人へのインタビューを理解して質問を考えられるように、人物の経歴を聞いて概要を捉えている。		
11	Unit 6 Beyond Borders <10時間>	*世界の子供たちの気持ちを理解するために、現実とは異なる願い事について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりすることができる。	仮定法(I wish I could [had] ...)	態 世界の子供たちの気持ちを理解するために、現実とは異なる願い事の概要を捉えたり伝えたりしようとしている。	
		*国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、現実とは異なる架空の話の概要を捉えたり、説明したりすることができる。	仮定法(If+主語+were ..., ~.)	態 国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、現実とは異なる架空の話の概要を捉えたり、説明したりしようとしている。	
		*国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりすることができる。	仮定法(If+主語+動詞の過去形, ...) 主語を説明する関係代名詞	思 国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えている。	
		*国をこえて助け合うために、世界の現状についての話を聞いて概要を捉え、自分の感想や考えを伝えることができる。	◆仮定法	思 国をこえて助け合うために、世界の現状についての話を聞いて概要を捉え、自分の感想や考えを伝えている。	

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
	Let's Talk 3 食品の選択 <2時間>	*相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。	I see your point, but ...	思 議論を通して考えを深めることができるように、食品の選択について、これまで読んだ内容や自分の考えを整理して、相手の意見を受けて主張を述べ合っている。	
	Grammar for Communication 4 <4時間>	*仮定法を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆仮定法	知 [技能] 仮定法を用いて、願いや現実とは異なることを伝える技能を身につけている。	
	Let's Listen 6 中学校生活の思い出 <2時間>	*スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。	◆仮定法	思 スピーチができるようになるために、友達の中学校生活の思い出についてのスピーチを聞いて、概要を捉えている。	
12	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate <5時間>	*主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができる。	◆既習事項の総復習 Word Room(ディベートで使える表現、ディベートの論題)	思 物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をしている。	
1	Let's Read 2 Power Your Future <4時間>	*エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。	◆既習事項の総復習	思 自分にできることや感想などを述べるができるように、様々なエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。	
2 3	Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs<4時間>	*スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。	◆既習事項の総復習	思 メッセージの要点を自分の言葉で伝えることができるように、テーマとエピソードを整理し、生き方について書かれたスピーチ原稿の要点を捉えている。	
	学び方コーナー③ <3時間>	*自分に合った英語の学習方法を見つけて、楽しく英語を学び続けるきっかけを作る。	これからの英語学習法	態 楽しく英語を学び続けるために、自分に合った英語の学習方法を見つけ、実際に取り組もうとしている。	